

### ■ ウクライナ：ザポロジエ 3 号機が運転再開

ザポロジエ原子力発電所 3 号機（100 万 kW）は 2017 年 11 月 6 日、10 年間の運転延長認可を受け運転を再開した。運営会社であるエネルゴアトム社は、「運転延長のために実施した性能向上の取り組みは、国際原子力機関（IAEA）の安全基準、国の原子力規制および運転期間延長に関する国際的知見に完全に準拠している」と述べた。ザポロジエ 3 号機は 1986 年に商業運転を開始したロシア式加圧水型原子炉 VVER1000（V-320）である。ウクライナでは、現在、15 基が運転中であり、そのうち 7 基（ザポロジエ 1、2、3 号機、南ウクライナ 1、2 号機、ロブノ 2 号機）が運転延長認可を受けている。